



エネルギーの地産地消に関する取り組み

鹿児島県では、地域のエネルギー会社が地域の再生可能エネルギーを活用して、地域にエネルギー供給する「地域新電力」が設立されています。地域新電力は、エネルギーの地産地消を促進し、地域の資金を地域内で循環することにつながることを期待されています。

鹿児島県日置市の取り組み 「ひおき地域エネルギー」について 聞いてみました♪



ひおき地域エネルギー

ひおき地域エネルギー(株)は、日置市にある地場企業と日置市、地元金融機関により、2014年6月に設立されました。エネルギーの地産地消を実現することを目的とし、電気事業を通して日置市の人口減少や少子化といった地域課題の解決や、需要の創出とエネルギーコストの地域内循環の仕組みを作ることを目指しています。



取り組み①【ひおきコンパクトグリッド】

コンパクトグリッドは、複数の施設を電線でつないで、電気を効率よく利用する仕組みです。ひおき地域エネルギーは、『行政エリア』と『福祉エリア』2つのエリアで行っています。



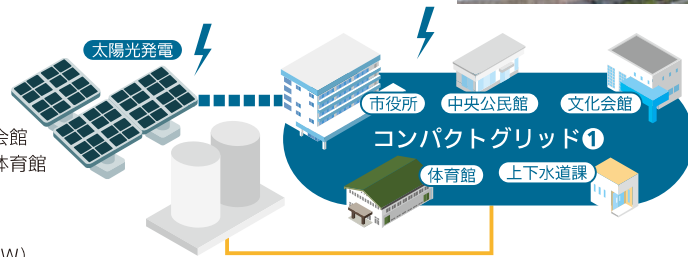
行政エリア

グリッド内施設

- ・日置市役所
- ・日置市中央公民館
- ・日置市伊集院文化会館
- ・日置市伊集院総合体育館
- ・日置市上下水道課

発電設備

- ・太陽光発電 (200kW)



ひおき地域エネルギー 中尾 雄さん

「行政エリアでは、日置市役所を中心としたコンパクトグリッドシステムを構築しています。以前は、各施設ごとに電気を供給していましたが、市役所に太陽光発電設備を入れて、一括受電して、そこで発電した電気を、当社がつくった電線・電柱でつなぐことによって、エリア内で効率的に電気を使うことができるようになりました。全体で消費する電力の20%をまかっていますので、電気代の削減などのメリットがあります。」



日置市 総務企画部 企画課 政策推進係 馬場なぎささん

「現在、行政エリアに蓄電池を設置し、実証実験も行っていきます。貯めた電気は災害が発生した時などにも活用できると考えています」

福祉エリア

グリッド内施設

- ・日置市伊集院健康づくり複合施設「ゆすいん」
- ・鹿児島子ども病院
- ・日置市伊集院総合運動公園

発電設備

- ・太陽光発電 (150kW)
- ・ガスコージェネレーション (25kW×4)



取り組み②【永吉川小水力発電所】

小水力発電所は、ダムのような大規模な施設を使用せず、小河川・用水路・水道施設などを利用して行うため、自然環境への負荷が少ないとして注目されています。



ひおき地域エネルギー 中尾 雄さん

「発電した電気は周辺地域に供給されています。適切なメンテナンスをすれば、60年以上も稼働してくれる水力発電所。電気の地産地消をしようと、最初に始めた事業ですので、大事に維持管理を行っていきたくと思っています」

取り組み③【ひおき未来基金】

ひおき地域エネルギーは、毎月、利益の一部を“ひおき未来基金”として積み立てるなど、地域経済への貢献も進めています。積立金は、日置市の未来を担う子ども達を育む環境づくりのためなどに使われています。



ひおき地域エネルギー 中尾 雄さん

「未来のために、地球に負荷を与えないかたちで継続的にエネルギーをつくっていくとともに、地域に暮らす人々の生活をより良くするためのお手伝いができればと思っています」



日置市 総務企画部 企画課 政策推進係 馬場なぎささん

「日置市全体で考えると、電気代のほとんどが市外に出ているので、地域内で電気をつくることにより、雇用が生まれ、経済の活性化につながると考えています。また、日置市は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする“ゼロカーボンシティ”を宣言しているため、今後もエネルギーの地産地消に取り組んでいきたいと考えています。」



「鹿児島県も、このような自治体と企業が一緒となった取り組みを推進しとるんじゃよ！」

「へー！ そうなんだー」

